第74号
2022年6月 発行

ゆめこらぼ通信

発行：西東京市市民協働推進センター

市民活動再発見

「地域の課題を解決したい」を応援します。

新型コロナウイルス感染症は、
市民活動にも大きな影響を与えた。

地域の課題を解決したいのに、
集まること、集めることができない日々が続く。

しかし、少しずつ、活動を再開した市民活動団体もある。
工夫を凝らし、できることを手探りで・・・。

活動を応援する形はさまざまです。
ゆめこらぼは少しずつ動き始めた市民活動を取材し、
発信することに「チカラ」をいれていく1年とします。
ゆめこらぼ通信、ゆめこらぼホームページ、イベント情報・・

スタッフ全員が全力で紹介させていただきます。

茨木のり子の家を残したい会
茨木のり子　詩と暮しのパネル展　＆　くるみ学級作品展

4月28日(木)から5月1日(日)まで、「茨木のり子の家を残したい会」による『茨木のり子　詩と暮しのパネル展＆くるみ学級作品展～個がきわだつ　個が出会う～』がコール田無イベントルームにて開催されました。
2021年7月柳沢公民館ロビーでのパネル展、同年11月柳沢公民館フェスティバルに続き、3度目のイベント開催となりました。

会場には、茨木のり子本人や彼女が建築家の従姉妹と設計した家の写真、詩を手書き文字で紹介したもの、茨木のり子に関する本・雑誌が多数展示されていました。
「茨木のり子さんは、戦時教育の中、何の疑いもなく太平洋戦争に加担したことを悔いていた。彼女の詩は、戦争反対の直接的な言葉を使うことなく、個をしっかり持つことがいかに大切かについて、読み手自身が考えるように作られている。彼女のぶれない生き方・考え方に大いに共感している」と事務局の柳田さんは、熱く語ってくださいました。

同時開催の、くるみ学級（柳沢公民館主催知的障がい者青年教室）作品展は、前回の柳沢公民館フェスティバルの展示で出会った彼らの個が際立つ作品に感動し、コラボを申し込み、公民館外での初展示が実現したそうです。玉ねぎをイメージした作品『たまねぎころりん』は、色も形も様々で、同じモノが一つもなく、個を大切にしていた茨木のり子さんの生き方とつながるものがありました。

西東京市（東伏見）に長年暮らし作品を作り続けた茨木のり子さん。この機会に、彼女の詩に触れてみてはいかがでしょうか。

事務局 柳田由紀子さん

たまねぎころりん

みんなの西東京

世界自閉症啓発デー

4月2日(土)16時～19時、田無駅北口ペデストリアンデッキにて、「みんなの西東京」主催による『世界自閉症啓発デー　ライトイットアップブルー西東京2022』が開催されました。

2007年の国連総会で、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」とすることが決められ、癒し・希望・平穏を表す“青”をシンボルカラーにして、世界各地でイベントやライトアップが行われるようになりました。

日本でも、4月2日～8日を「発達障害啓発週間」とし、シンポジウムの開催や、ランドマークのブルーライトアップなどを行っています。

当日は、会場全体がシンボルカラーである“青”で飾られ、スタッフも青い色の服や青い色の物を身に着け、自閉症を知るためのリーフレットの配布、アンケートの実施、DJや歌など音楽のパフォーマンスを披露し、イベントを盛り上げました。

会場の一角を彩った、ミニLEDライトを並べたスタッフ手作りのブルーライトアップは、使用するビン集めをゆめこらぼでもお手伝いしました。

この日は、花冷えの寒い1日でしたが、演奏に合わせて一緒に歌ったりアンケートに答えたりする人の笑顔と、ふんわりやさしい青色の光に包まれ、心がほっと温まるイベントでした。

第13回NPO市民フェスティバル3月31日で終了

動画公開・ゆめこらぼサロン内展示も

西東京市内のNPO・市民活動団体が一同に会するNPO市民フェスティバル。

今年で第13回目となり、1月22日から3月末まで、ゆめこらぼホームページでの紹介動画を公開し、ゆめこらぼのサロンコーナーでは、実際の資料を展示していました。

一週間ごとに3～4団体の展示があり、一般の来訪者の方も楽しんでいました。

ご参加いただいた団体の皆様、ありがとうございました。

第14回市民フェスティバルは、7月より実行委員会を始動します。詳しくは最終面のお知らせをごらんください。

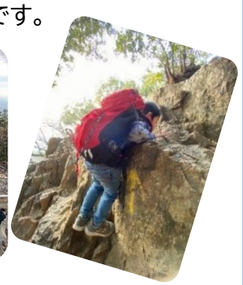
(寄稿)一般社団法人ぽろんのいえ

皆さん、子育て楽しんでいますか♪

非営利型法人の「ぽろんのいえ」は、子育て・家族を応援するために、様々な活動をしています。

●感覚統合をベースとした毎月のイベント
●赤ちゃんの発達が学べる
　マッサージ「タッチコンタクト」
●発達の専門家のつぶやきが聴ける
　オンライン「親交流会」
●講演会講師

そして、家族のように子育てを支え合うふぁみりー会員制度があり、会員向けの野外活動・個別相談・発達れっすん・ぺあれんとれっすんなど、特別なニーズに応える専門性を持った法人です。



・発達の専門性を西東京市に役立てるために♡
・家族だけではたいへんなことも一緒に
　チャレンジすれば心強い！
・凸凹不安を抱える家族も安心して参加できる
　インクルーシブなプログラム！

更に、様々な活動をしている団体さんと支え合いや協働しながら、西東京市の市民活動を応援していきたい、と妄想しています(#^.^#)　　スタッフ一同

(寄稿)こども食堂げんき

始めたきっかけ

2014年市内で中学生が自死した事件から、子どものために何かをしたいと考え、親や先生以外の大人とふれあう機会として「子どもの居場所」を作ろうと考えました。

開　催　日　毎月第2日曜日、第4土曜日11時30分～14時
開 催 場 所　西東京市富士町1-1-1
費　　用　子ども　18歳位まで、必要とする若者　無料
　　大人　子どもの保護者　300円

目的

1.親や先生以外の大人とふれあう機会として「子どもの居場所」を作る
2.社会に隠れた貧困の子どもに寄り添い、関係機関につなげる
3.子どもの「食」を支え「孤立」をなくす
4.栄養バランスが整った食事を提供する

お願いしたいこと

活動場所を作り、ボランティアは学生さん、会社員や親などが集まって来ています。できる範囲で負担のないようにお手伝いをお願いしています。子ども食堂に興味のある方はご連絡をお待ちしています。

予告など

下校後の居場所のひとつとして、子ども食堂の場所を活用して6月より《げんきひろば》を予定しています。多様な世代の方と色々なことを楽しみながら過ごせる場所を目指しています。宿題を持って来てもOKです。

連絡先　たかざわ　070-1273-0547

NEWS

第14回 NPO市民フェスティバル 実行委員募集

市内で活動する個人や団体が集まり、それぞれのアイディアを持ち寄って、第14回NPO市民フェスティバル(2023年1月下旬開催予定)を企画・運営するための会です。
毎月1回程度打合せを行い、本番に向けて準備していきます。
昨年度の実行委員会はすべてzoomで開催。
あなたの応募をお待ちしております！

第1回実行委員会
日時:7月5日(火)19時～ 20時

6月30日(木)までにEメールで、
①住所 ②氏名(ふりがな)
③電話番号を明記のうえお申込みください。

サロンの特集コーナー 図書館との協働

ゆめこらぼのサロンでは、テーマを設けて市民活動の資料などを展示しています。

今後の展示予定

6月　環境
7月　福祉
8月　平和

ゆめこらぼサロンへ直接チェックにきてね！

新たな登録団体＜3月～5月＞

(説明文は登録時に各団体から頂いた「目的」の項を転載しています)

◆田無特別支援学校PTA

1. 会員相互が協力をし、教育と福祉の充実向上を図る。
2. 会員相互の親睦を図り、研修を深める。
3. 心身に障害のある子供の教育について、社会の関心を高めると共に福祉の向上に努める。

＜2022年5月現在で187団体になりました＞

ゆめこらぼの発行物は「UDフォント」を使用しています。

西東京ボランティア・市民活動センター

「ボラセン」からのお知らせ

夏！体験ボランティア 西東京 2022

■体験期間:7月26日(火)～8月31日(水)

■受付期間:7月4日(月)～8月5日(金)
9時～17時　※日曜・祝日は除く

■活動先、活動内容:
7月1日(金)より、ホームページに情報掲載いたします。

■参加資格:
小学生以上で、ボランティア活動に興味のある方。

■申込方法:
ご本人が西東京ボランティア・市民活動センターに直接お越しください。

※小学生の参加には、保護者の承諾書の提出(押印)が必要です。

※活動内容により、ボランティア保険未加入の方はご加入いただきます。

■募集定員:
各施設・団体の募集人数になり次第、 順次締め切ります。

問合せ:西東京ボランティア・市民活動センター
☎042-466-3070
受付時間(日・祝除く)9時～17時

西東京市市民協働推進センター
ゆめこらぼ

〒188-0012
西東京市南町5-6-18イングビル1階
Tel:042-497-6950　Fax:042-497-6951
E-mail:yumecollabo@ktd.biglobe.ne.jp
https://www.yumecollabo.jp/
Facebookも更新中！

開館時間　月～土　午前10時～午後7時
休館日　毎週日曜日・祝日・年末年始